台風23号の被災をふりかえって

（一）年（三）組（三十二）番
氏名（石井 佑依）

去年の10月20日に台風23号というものすごく強い台風が来きした。台風23号は、豊岡に直撃しました。台風は、豊岡とくに新田地区と三江地区に大きな被害をおたらしました。

私は新田地区に住んでいて、もちろん私の家もつかりました。私の家は、お母さんとお父さんは家にかえれなくなって、私の家にはおばあちゃんとお兄ちゃんとお姉ちゃんと私だけでした。私たちは近くの家の工場に工場の家の人と私たちが非難しました。食べ物もなくみんなすごくお腹をすかしていました。水がひいてから、私の家のお父さんとお母さんとか、工場の家の人の親せきの人たちが食べ物を持って来てくれて、みんなおいしそうに食べていました。トイレはたにしかなくて、みんなダンボールでかくしてバケツをおいて、トイレとかをしていました。

ここは入れた方がよいか考えて下さい

私は、台風で被害をうけただけじゃなくて、台風でいろんな事を学びました。一つは、命の大切さです。私はよく兄弟ゲンカをして「キモイ」とか「キエロ」っていってしまうことがあったけど、これは本当は言ってはならないことだということを台風はおしえてくれました。三つ目は、次このような台風や地震がおきたときに、非難をするときはどういう物をもっていけばいいのか、台風はおしえてくれました。台風で家も心もボロボロになったと思っていたけど、台風が来てから家族が前よりも仲良くなっていけたような、きがしました。